

「愛の里」通信

【自然との共生】 【老若共生】 【地域との共生】

一般財団法人 愛の里 有料老人ホーム
愛の里サンヴィラ
〒874-0828
大分県別府市山の手町17-1
TEL.0977 (25) 2155 FAX.0977 (25) 8287
ホームページ <http://ainosato.or.jp/>
編集者：上野 誠



～ 介護理念 【信頼・優しさ・笑顔】 をモットーに ～

やわらかな春風にのり、今年も桜の季節が訪れました。しかし、新型コロナウイルス肺炎の流行が日々深刻となり全世界に影響を及ぼしています。愛の里での静かな生活にも、非常事態宣言と厳しい対策を余儀なくされています。どうか皆様、この未曾有の危機を一致団結して、無事乗り越えていただきたいと切に願っています。



好天に恵まれたお正月。
県内各地からの松・竹・梅や山野草で飾られた素晴らしい門松。
職員の手作りです、見事でしょう！



令和二年元旦、「平成」が終わり「令和」になって初めての愛の里互例会がおごそかに執り行われました。施設長より新年のご挨拶を申し上げ、日頃の感謝の気持ちを込めて参加の皆様にお屠蘇がふるまわれました。例年のように心を込めて正月料理も提供させていただきました。正月料理・三が日の食事はご家族からも「素晴らしい食事を用意して頂いて。」「とても喜んでます。」とお褒めの声も頂きました。皆様からの励ましのエールを胸に職員一同より一層精進して参ります。

お誕生日 素敵な笑顔をありがとう！！



令和2年「春」入居状況

○現住人数(令和2年4月5日現在)

入居人数	男性	女性	合計
	21名	60名	81名
平均年齢	86.7歳	86.9歳	86.8歳

○年齢構成状況

60代	70代	80代	90代	100代	合計
0名	13名	34名	33名	1名	81名
最も若い入居者		最も高齢な入居者			
70歳		101歳			

*満60歳以上の方が入居いただけます。
(ご夫婦の場合はお1人様が、満60歳以上であれば入居いただけます。)

○介護認定状況

要介護5	1名
要介護4	8名
要介護3	2名
要介護2	6名
要介護1	14名
要支援2	9名
要支援1	11名
*更新・申請中など	0名
計	51名

○入居年月状況

30年以上	2名
20年以上	0名
10年以上	16名
5年以上10年以下	19名
5年以下	44名

○出身地

大分県	54名
東京都	7名
山口県	1名
福岡県	5名
兵庫県	2名
大阪府	1名
北海道	1名
千葉県	1名
静岡県	1名
神奈川県	1名
新潟県	1名
奈良県	1名
佐賀県	1名
広島県	2名
長崎県	1名
熊本県	1名
計	81名

クリスマス会を盛大に開催いたしました ☆



(上写真、中写真)年末の恒例行事、日本文理大
学野球部の皆様による餅つきと職員・有志による
餅丸め作業(下写真)

昨夏、アメリカ・ジョージア工科大生が来団！！



ジョージア工科大生と日本の食文化について交流を行いました

「愛の里通信 再出版にあたり」

皆様から多くの再発行の声をいただき、一年ぶりに愛の里の日常生活を四季報でお届けすることとなりました。
早いもので有料老人ホーム健康型でスタートして、この夏で四十年が経過します。十八年前介護保険対象者が入居できる特定施設の認可を受け、混合型の施設として現在に至っております。全国各地からの問い合わせと見学に際しては入居者の皆様から多大な情報とご支援をいただきました。この十年近くはわたり、全国でもトップクラスの高い評価を受けるに至り、感謝の言葉で表現できないほどの思いが熱くなりなりました。
「自然との共生」「老若共生」「地域との共生」の経営理念の実践を地道に積み重ね、皆様の生活が豊かに楽しく穏やかに過ごしていただけるよう私も日々努力して参ります。

有料老人ホーム
愛の里サンヴィラ
施設長 古川 泰征

3月3日 桃の節句 夕食にシロウオをお出しました



佐伯を流れる番匠川(全長40Km)県南に春一番の訪れを告げるシロウオ漁。塩水と真水の交わり(汽水域)に仕掛けたヤナ場。



季節の魚料理を紹介します



ふぐ料理



タラ料理



夏の名物 ハモ料理

青森県から取り寄せた15キロ級のタラ3匹を提供しました。

里山の風景を愛の里にお届け！！



正面玄関前の花飾りを、里山から採ってきた春の花に模様替えしました。さくら・しきみ・ブロッコリーの花など春の訪れが感じられます。入居者様も毎日花々を見ては、春の訪れを実感しています！！

新型コロナウイルスについて
肺炎を引き起こす新型コロナウイルスに感染した人が国内で増えています。発源地の中国以外の国内でも死者が出ており、感染防止対策の基本を徹底し、手洗い・マスク着用・免疫力を高める栄養摂取が大事です。また、不要不急の外出自粛や「密閉」「密集」「密接」の三つを避け、感染予防に努めましょう。